

陣地せん領前衛戦から

俄然十七日拂曉大決戦

川崎本縣知事の統監下に 青訓聯合演習の想定成る

石城郡下青年訓練所生千數百名が聯合し來月十六七の兩日平町を中心にして大發火演習を行ふことは既記の如くであるが同演習には第二師團より機關銃二銃隊

参加する外平訓練所

が新たに購入せる模型機關銃も其の威力を發揮し戦鬪を一層壯烈化せしむべく此程決定した想定に依ると南北兩軍に分れて夫々兵備を整ひ先づ磐城街道を南下したる

北軍は鎌田北方高地

により平停車場北方高地を経て久保町南方高地に亘り陣地を占領し其前進陣地平南端、松ヶ岡、御臺境にあ

りと爲し一方陸前濱街道を泉——小名濱——平への道を北進したる南軍支隊は十一月十六日午後四時砂尾戸及び綴附近に開進し攻撃

準備中 日没となり夫

々夜營を爲し翌十七日は俄然拂曉戦となり兩軍は徐々に前進して平町南側の耕地に遭遇兩軍は衝突して砲

煙彈雨の巻を現出し正午頃に至り漸く壯烈な戦鬪は終幕を告ぐる豫定である因に當日の役割り左記の如くである

▲統監部(統監)川崎知事(補助官)中會根社會教育主事、縣嘱託宮尾中佐、會我石城青訓聯合會長、

(統監部附)山崎在郷軍人聯合分會長、小泉砲兵上等工長、大間航空兵特務曹長(衛生部)羽岡二等軍醫

中央審判官、審判長、

四家歩兵少佐、麻原歩兵特務曹長、庄司同、藤田歩兵中尉

▲南軍審判官(審判長)小谷歩兵少佐、(第一中隊)小松同曹長(第二中隊)小松歩兵少尉(第二中隊)赤津歩兵中尉

▲北軍審判官(審判長)齊藤歩兵少佐、數兵工兵中尉(第一中隊)櫻村歩兵少尉、山野邊砲兵同、助川歩兵曹長(第二中隊)萩原歩兵中尉、山部砲兵少尉

教育總集會

講師入澤博士

來月八日午前九時より平第一小學校講堂に開催さる、石城郡教育會總集會の講師は帝大教授文學博士入澤宗壽氏と決定演題は「體驗教育の思潮と其施設」である

町村長等招集し

健康週間打合せ

既報來月十日より十六日迄全縣下に行はれる健康週間就いて平署でも是が準備中であるが來る四日平署會議室に管内各町村長及衛生區長を招集健康週間期間中の催物其他に就いて打合せ會を行ふと

三株線改修

促進の陳情

勿來町より東白川に通ずる縣道三株線改修實現について期成同盟會が必死運動のうだが、これには太管咲、厚物咲、細管咲、間管咲、一文字咲などの種類があつて、それ／＼手入れ法が違ふといふから菊作りも又難い哉だ、小菊の懸崖造りは反つてやさしいといふが、觀る人は作り手の努力よりも花の壯麗さに眼をそばだてるだけ

秋と菊花

それは實に

密接な結合だ、我々は秋の花の王者として菊花の尊嚴を知る、そしてその花言葉は色彩によつて異なる

街の閑人や隠居が作る菊は葉つば一枚が大切なさ

結果一部の改修工事に着手しこの程起工したが未だ交通上に支障尠からず是非七年度には全部の改修を得べく勿來川部田人各關係町村有志十數名は二十九日出縣し改修促進の陳情をした

縣下商業 本縣下の學校協議 六商業學校及び商業科を有する小學校、商業補習學校の各當事者は來月十三日午前十時より平商業學校に參集商業教育に關する協議會を開くと

養蠶實行組合 あす創立總會 新法による石城郡養蠶實行組合の創立總會は來る卅一日午前十時より團體事務所を開き左の件を協議する筈

- 一、石城郡養蠶組合創立の件
- 一、役員選任の件
- 一、定款議定の件
- 一、收支豫算及經費の分賦收入方法の件
- 一、組合の負擔に歸すべき創立費及其の償却方法認證の件

産業組合講習 産業組合福島支會及石城分會主催の産業組合法規並に經營に關する講習會は來月十六日より五日間團體事務所所に開催されるが講師は縣農林主事小松直人氏の組合法規及び經營に就いての講習會が二日間縣農林主事補渡邊雄吾氏は一組合法規及登記に就いて三日間の講習會をするものであると

政府買上米中の

不合格米の處置

今回の政府の買上納入米中事故により不合格となつたもの、處置に關し本日縣農會より郡農會へ通知があつたので近く各町村關係者への通牒を發する筈である

△第一順位中政府の低利資金通を受け貯蔵中品の納入は不合格の際古米を任て代納とし代納不能の場合は違約金を免除せらる

△第一順位中農業庫庫に貯蔵せらるる米を納入する際不合格の際は新米を以て代納し得但買入價格は古米の買入價格を以てす

事變地通信

南滿洲奉天駐劄

歩兵第廿九聯隊

平南町出身 佐藤武

それですから奉天市民は小學生に至る迄エリ章を見ると、廿九聯隊、駐劄隊など、大騒ぎです、奉天市民はおろか日本全土に所謂

金城鐵壁の古城と云はれた奉天城を一夜にして陥落せしめた第廿九聯隊ですから市街を朝鮮の兵士と共に巡察して居りますと、二十九、二十九聯隊と云はれるので實に鼻が高くなります、會ふ人毎に長春から二十九聯隊は歸つて來たのですか等と聞かれる事も御座います

早く長春から歸つて

來て奉天を守つて下さい等と小さな小學生等に云はれる時などは實に帝國軍人の有難さが感謝されて居る事が必々と解ります。大いに皇國の爲め全滿洲邦人保護の爲め身命を捧げて奮闘努力をして居りますから

一般平町 市民各位にも御知らせ下さる様お願い申し上げます、駐劄隊では戦死者の無かつた事は多くの福島縣人の方々が日夜の如く神佛に祈つて下され、且つ又、來る手紙來る手紙に皆御守が入つて居りそれ程迄に我が滿洲出兵に對し御思ひ下さればこそチャンコロの彈が皆身より外れたのだと

將校の人々が兵卒に話されました、本當に左様で縣人の多くの人々の御心慮に依つて受難が無かつた事と深く深く縣人の皆々様に感謝を致して居ります (續く)

往來

△野崎縣議 廿九日午後二時十五分福島へ

△鈴木豊間村助役 同右

△馬目同水産組合長 同右

平町人事

回出生

△番匠町四〇 爲安竹松氏次男喜政

回婚

△石城郡小名濱町本町四〇 小野賢次郎(三四) 三丁目二九小野イシ(二五)

回死

△南町五一 淺谷福子(二三)

秋十月

もゆる花の情熱

菊は種類が多く

げにや花の王者

菊薫る——およそ秋のもえたつやうな風景は、今、街のあちこちの縁先や庭隅に展げてゐるが黄、赤、白……色とり／＼に咲く菊の小春の風にゆらりと大きく揺れる大輪の花を間近にうけて、我々はあたいかい

すべて花卉のなかでこれほど種類の多いものはないだらう、眞夏に咲くささく

菊は葉つば一枚が大切なさ

街の閑人や隠居が作る菊は葉つば一枚が大切なさ

磐炭糧食部へ納入者中 不正木炭商發覺す

一俵に付四貫匁の不足

石城郡内郷村木炭商某商店(特に名を秘す)では目下磐城炭礦糧食部へ木炭を納入して居るが最近同糧食部で納入の木炭を検査した處一俵に付四貫匁位づいづれも少ない事が判明したので直ちに濱三郡木炭同業組合宛に不正品販賣に關して問合せを以て石城木炭の聲名を高めてある現在斯くの如き不良商人が跋扈するは憂慮に耐えない次第であるといふ。昨日同組合の佐藤書記が實地調査に出張した。

△第二校 同日剛健會を開き下小川村開場へ徒歩
△第三校 六日体操會

滿洲問題講演

石城郡江名町在郷軍人分會及び青年團では昨日廿九日夜六時より小學校講堂に於いて滿洲事變と國防と題する講演會を開いたが講師は白石玄海氏である。

齒醫者の弟子

悪事露見さる

平町才樋小路齒科技工淡谷龍二(二)は勤め先の主人宅で純金二匁五分(時價十二圓)を窃取廿八日夜三丁目平野井古物店へ一匁三圓六十錢にて賣拂はんとするのを平署員に怪しまれて檢舉された。

飲むよ酒、酒

郡内一人當りの飲酒量

七升九合に及ぶ

平稅務署で調査した管内四万六千戸に對する昨年十月から本年九月迄の酒類消費量の各酒別消費高は左の如し

清酒	一、五二六二石
燒酎	七七六石
ビール	二九四石
地酒	二〇二石
葡萄酒	一六〇石
ウエスキー	四石

に及んで之を全郡一人當り平均にすれば七升九合となり昨年と比較すると不景氣其他の事情で約二割減を示して居る

リヤカー窃取

五圓で賣却

石城郡内郷大字小島字新町

日平町古鍛冶町大瀧虎松方へ五圓にて賣拂つた事を平署に探知され廿九日檢査除罪取調中である

來る三日

炭礦聯合競技

高月臺に躍る

磐城新聞社主催第四回常磐炭礦聯合陸上競技大會は磐城陽スポーツ界の一異彩として地方フアンの心臓を高鳴らせてゐたが愈々來月三日高月臺グラウンドに華々しく開催されることとなり磐城、古河、入山の各参加チームはバチ切れさうな満幅の闘志を秘めて目下猛練習中で参加選手總數は百二十名に達し當日は土岐仙臺礦山監督局長等臨席すると

少女赤十字團

平第二小學校の少女赤十字團入團式は三日午前十時より舉行、尋常五年生百八十四名入團する由

ムシ歯の絶無は生徒の心身に如何な影響?

虎眼 カイ虫

平第二小學校が保健衛生の新施設

平第二小學校にては生徒の保健衛生施設の上に新しい試みを行ふ事になつた、夫れは生徒等がムシ歯を始めとしてラホーム及び蛔虫に悩まされる甚だしきものあるに鑑み全然是等の疾病に罹らぬ生徒が如何に健やかな發育を遂げるものであるか且つ學力に如何なる影響を及ぼすかを實際に徴して明らかならしめんと罹患せぬ生徒のみの身心の



明日のラジオ

報豫氣天

今晚も明日も南西の風曇り

今晩の部

後六、〇〇 お話「電氣を作る魚」福井玉夫
後六、三〇 英語講座「初等科」(二十二)寺西武夫
後七、三〇 在滿同胞慰問の夕講演開會の辭 岡實君ケ代(吹奏樂)戸山學校
軍隊隊 慰問の辭 若槻禮次郎 同 南次郎
後八、〇〇 ラヂオドラマ「時の氏神」

明日の部

後八、四〇 浪花節「神崎與五郎東下り」吉田奈良丸
後九、一〇 舞踊「藤娘」中村福助
後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

經過を調査する事

なり、先づ尋常四年の三組(米本訓導受持)の生徒全部のムシ歯を根底的に治療し尋常六年に至る迄の經過を調べべく佐藤囑託醫が懸命な努力を注ぐ事となり次ぎにラホームは尋常二年生全体に星囑託醫が周到な注意を拂つて他よりの感染等を防ぎ蛔虫は各級

一組宛 驅虫劑を服用

せしめ清水醫師の應援を得て絶えず糞便を檢査し是れが絶無を期する目論見にて右の調査の結果が身心の上如何に優秀な成績を示すに至るかに就いては各方面より多大の期待を以つて迎えられるつゝある爲め來月

廿六日 縣の小野寺學校衛生主事を始め郡内各學校職員が同校に參集視察研究を遂げる事になつて居る

佐藤校長轉居 平第二小學校校長佐藤一氏は此程

平第二自治會

平第二小學校にては生徒の自治心涵養を圖る爲め各學級に自治會を設け生徒自身に實際問題の協議を爲さしめて居るが來月十一日には放課後に各學級の代表委員より成る全校の自治會を開く計劃である

蜂屋柿賣出す

石城郡農會販賣輪施の石城郡蜂屋柿は今三十日から東京市場へ賣出しを開始したが価格は石油箱五貫五百匁入東京渡一圓八、九十錢見當で昨年より二三割安の見込である

航空機操縦士

志願者募集

逓信省航空局では今年度航空機操縦士

冬も暖かく

- 裏毛メリヤス 三五錢
- 毛メリヤス 一二〇錢
- 婦人みみやこ 六八錢
- 婦人毛シャツ 九五錢

モリタヤ洋品店

買ひ良き店5丁目電353

小説

七五郎

(七十三)

【載轉禁】

渡邊默禪作
布施平八郎畫

狼の足跡 (3)

「お嬢さま、お分りになりますか。どうも私の目ぢや碌すつぽうに讀めませんが……」

清作は卓上の向ひ側から白銅縁の老眼鏡をかけた顔をぬつと突出させて、熱心に千代子の手許を覗き込んだ。

「私にもよく分らないわ」

「川島の手だつてえことだけは確でせう」

「然うらしいのね」

「らしいどころぢやありませんや、私アちよい／＼見つけてゐるんですから間違つては有りやあしません。どんなことを書いてあるか一度讀んで聞かしてお呉んなさいやし。」

千代子は飛々に分つた部分だけを讀んでから、じつと考へ込んだのであつた。「へえ——」とりのけて敷物を捲くれば訝しいな。それに隠匿して話ば、物を隠すつてえこととせう。ハ、分つた」

清作は目を圓くして「お嬢さま、こいつは何でげすせ。どこかに品物を隠してあるからそれを捜し出して押へつちまへ、敷物を捲くるとその下に匿し場所

がある、彼の野郎が今日やつて来た連中にそつと知らせたんでせう。ね、それに相違がごあんせんで。」

「私も然うだらうと思ふわ」

「だが、少し辻褄が合はないなア、のツけに三階ツて言葉がうつてあるんだか



「この洋館の三階を指して言つたものだらうと思はれるが、その下へ来て床の間の板下は訝しい。床の間のある西洋館てえのは見たことも聞いたことも無えからな」

「まつたく變だわ」

「それに鞍馬天狗だの人の手だのつて何のこつてすえまさか天狗さまが此の家に住みかえしてゐて人形をポリポリ食つて、その手だけをお八つに取つといつたといふ譯でもありませんまい尤も店の會計員に高野ツて

え鼻の先のいやにとがらかつた鴉天狗みてえな奴がゐますけれど、まさか其奴のことぢやあ……」

「いえ。これはね。さつと骨董のことなんでせうよ。家には鞍馬天狗といふ銘のある與次郎のこしらへた釜があつて、それが二萬圓か

わ。」

これも一萬圓以上の品だつて。去年のいつだつたか、見さんから見せられたことがあるわ」

藤沼醫院

平町紺屋町
電話五〇七番

井の三 商品切手

八四番
三二番
平三電

木村科醫院

平町五丁目橋際
電話三〇九

三鐘
根本時計
無料検眼
各眼科院御用

時計
召すなら
タイラの
精幸堂

☑ 常に信用と責任ある良品廉價 ☑



向店車動自チクキ路小槌播町平

江戸前料理 合巻

秋の味覺をそゝる松茸が出廻り
食卓に芳香をはなつて……
松茸料理 始めました
秋の鳥料理 始めました
ぜひ一度御試食下さい

出前迅速 錦水
田町(電話四五四)

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

冬の通學服

当店特製の黒小倉通學服を豊富に取揃へて御座います。

長ツボン付
小學生用……・85錢
同(特製品)……1・90錢
中學生用……2・80錢

なかや洋服店 平三電203

産科・婦人科 井坂醫院

平町田町
電話五五九番

美味!
芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番